

みやざき No. 269

〒880-0303
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
TEL : 0985-74-3850
FAX : 0985-74-3950
http://www.i-port.or.jp

令和3年度2号
令和4年3月1日発行

機構トピックス

スポーツで産業振興の連携!! テゲバジャーロ宮崎と包括連携協定を締結!!



▲包括連携協定締結式（令和4年2月21日）於：宮交シティ紫陽花ホール
左から(株)テゲバジャーロ宮崎 代表取締役社長 二村恵太氏 県産業振興機構 理事長 原田幸二

サッカーJ3リーグテゲバジャーロ宮崎と包括連携協定を結び、その締結式及び合同記者発表が行われました。

スポーツから波及する経済の活性化を図ることを目的に、連携した取組を通じ、地域社会全体での連携活動・中小企業支援を目指します。

具体的な施策

- (1) スポーツを通じた中山間地域を始めとする県内各地域への活動内容に関する情報提供
- (2) スポーツを通じたフードビジネス・中山間振興等の本県基幹産業施策の推進
- (3) スポーツを通じた県内中小企業の取引拡大支援

原田理事長は、今回の包括連携協定により、裾野が広いスポーツの力を借りて、県産品の販路拡大や若者に地元企業のことを知る機会を提供することで、次世代の担い手確保につながり、フードビジネスや中山間地域の振興、若者の県外流出対策などに寄与することが期待できる、さまざまな取組を仕掛けていきたいと話しました。

昨年のホーム戦 出店ブースの様子



▲東米良ラッピングトラックの展示



知事にも試食してもらいました



美郷町の「みさとちゃん」も応援に来てくれました

株式会社くしまアオイファーム 大臣官房長賞を受賞



▲オンラインによるアワード表彰式（令和4年1月21日）
賞状を手にする(株)くしまアオイファーム 代表取締役会長の池田誠氏

6次産業化アワードとは

6次産業化アワードは、農林水産省と6次産業化推進協議会が6次産業化・農商工連携の更なる推進に向け、全国から募集した取組のうち、地域活性化や新規性・発展性等の観点で特に優れたものを表彰する事業であり、本年度は農林水産大臣賞1件、大臣官房長賞4件、協議会奨励賞2件、学生応援賞1件が受賞しました。

選定理由

◆ 独自の栽培・青果流通技術で国内外の販路を拡大

消費者が求める小ぶりサイズの芋の生産に適した小畝密植栽培法を開発するとともに、長期貯蔵のキュアリング技術と特殊包材による袋詰めにより海外輸出を有利に進め、サツマイモ輸出で全国1位に成長。

◆ 加工品商品化・販売

焼き芋一本丸ごとを冷凍加工したものを冷やし焼き芋として商品化しネット通販に取り組みほか、キッチンカーで大学芋を販売するなど加工品も展開中。

◆ 地域貢献

地域において、高齢化や後継者不足で営農が困難となった農家から農地を借り上げて栽培地として利用するほか、農家を同社の社員として雇用するなど、雇用や地域経済の発展にも寄与。

また、全国的に被害が拡大しているサツマイモ基腐病について、宮崎大学と連携して基腐病対策のモデルとなる取組みを展開中。



このたび、宮崎県成長期待企業に認定されている株式会社くしまアオイファーム（串間市）が、農林漁業者の優秀な6次産業化の取組みを表彰する「令和3年度6次産業化アワード（6次産業化優良事例表彰）」において、大臣官房長賞を受賞しました。



▲独自開発した小ぶりサイズのサツマイモ商品

世界一のサツマイモ総合企業を目指す当社の取組みを評価いただき、栄えある賞を受賞することができました。

関係者各位には改めてお礼申し上げます。地域生産者と共に生産量の増加や雇用の確保を図ることで、今後も地元経済の発展に貢献して参りますので、引き続きよろしくお願い致します。

（代表取締役会長 池田誠氏）

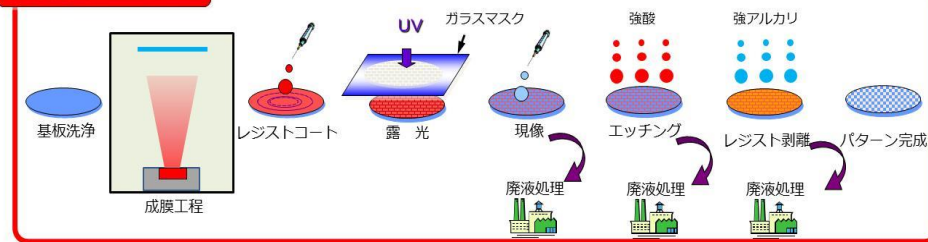
若手技術者等育成支援事業

ものづくり日本大賞を受賞した
メタルマスク成膜システムの開発と実用化

株式会社 システム技研

〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町1989-1
電話：0986-27-5300

フォトリソプロセス



<写真1> メタルマスクホルダ

マスク成膜プロセス

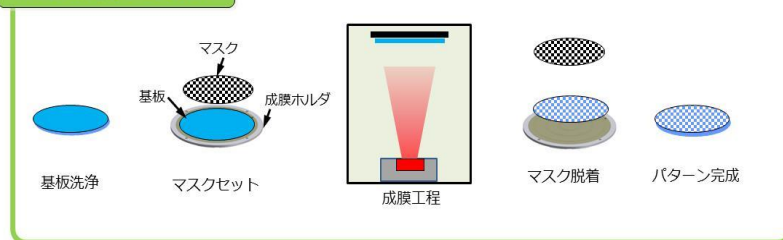
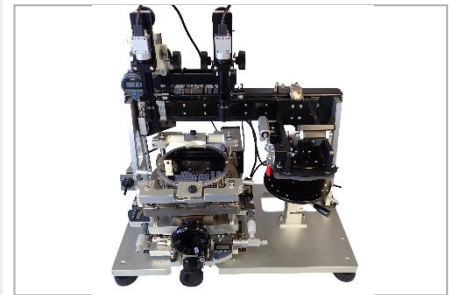


図1 各プロセスの比較



<写真2> アライメント装置

当機構の若手技術者等育成支援事業を活用して開発が行われ、「第8回ものづくり日本大賞 九州経済産業局長賞」を受賞した「メタルマスク成膜システムの開発と実用化」の事例をご紹介します。

半導体の電極形成方法には図1に示されるフォトリソプロセスとマスク成膜プロセスがある。マスク成膜プロセスは工程数が少なく簡便であるが、精度が低くパターン品位を著しく損なうという課題があった。

そこで、強力な磁気吸引方式のメタルマスクホルダ<写真1>、更にメタルマスクの高精度アライメント装置<写真2>を開発、マスク成膜プロセスの精度向上に成功した。その結果、従来方式では実現が困難なデバイスの製造、例えばハイブリッドカー用のパワー半導体の量産にも採用されている。

今後普及するEV や燃料電池車及び太陽光や風力発電を初めとする自然再生エネルギー分野に於いても、電力変換にパワーデバイスが必要であり、大規模な需要が期待されている。また、難エッチング性材料等でのパターン形成においても各種デバイスへの応用が期待される。

[支援企業からのコメント]

このシステムの研究開発には約10年と言う多くの年月を費やしてきました。

より高度なスキルを習得する為に、当支援事業を活用させて頂き、若手社員は多くの貴重な経験を重ね見事に「ものづくり日本大賞受賞」という輝かしい結果を残してくれました。

代表取締役 長峯清隆

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
新事業支援課
電話：0985-74-3850

Web商談で新たな取引先を開拓

相馬工業 株式会社

〒889-1401 児湯郡新富町大字日置3060
電話：0983-33-5581



▲Web商談風景

昭和48年に創業した同社は、主に有機ELやFPD関連の真空装置、生産設備関連、航空機・造船関連、食品関連など幅広い産業界のものづくりを手掛けています。同社は九州でもトップクラスの大型五面加工機や大型焼鈍炉を保有し、材料調達から製缶溶接、機械加工、焼鈍、プラスト、仕上、塗装、組立、検査を自社で行う“一貫生産体制”が可能であることから、大手メーカーとの取引も年々増えてきております。

そんな中、同社ではコロナ禍の影響により受注額が大幅に減少、外出自粛により営業活動も制限されましたが、昨年度から機構が開催しているWeb商談会に積極的に参加することで、これまでにない地域の新規取引先の開拓を行っております。Withコロナの時代と共に、これからの課題の整理と新たな営業戦略の確立を進めています。

お問い合わせ先

(公財)宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850



▲本社工場

この度Web商談に参加させて頂き、新規取引先の開拓、大型案件の受注に至ることが出来ました。引き続き、Web商談に積極的に参加し、コロナ禍による影響を打破するとともに、幅広い産業界のお客様のニーズに応えられるような企業を目指して参ります。

(代表取締役 井野達也)

補助金を活用した取り組みでコロナ禍を乗り越える!

城山ふとん店

〒882-0803 延岡市大貴町4丁目2964
電話：0984-42-3460



▲「ふとんの修理屋さん」の様子

延岡市の城山ふとん店は、1972年にわたる製造業からスタートし、寝具の製造・販売、クリーニング、ふとんのレンタルなど幅広く事業を展開してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で大きな影響を受けました。

そこで令和2年度に機構が実施した地域中小企業等回復支援補助金を活用して、

①自社商品・サービスのブランディング【ふとんの修理屋さん】

②ブランディングした自社商品PRのため、地元延岡で3か月間、月2回の新聞広告

③パンフレット3,000部のポスティングを行った結果、売り上げが徐々に回復し、5名の雇用も維持することができました。その後も新たな雇用を生み出すなど、その効果は今も続いています。

お問い合わせ先

(公財)宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850



▲スタッフの皆さんと店内

売り上げの目途は立たないけれど月末には支払いがやってくる。そのようなコロナ禍の中、現状維持ではなく補助金を活用し、今だからできる取り組みを行いました。本当に助かりました。全国的に少なくなったふとんを製造する技術を今後も継承していきたいです。

(3代目代表予定者 松田陽子)

成長し続ける強い組織風土づくり

ミツワハガネ 株式会社

〒882-0071 宮崎県延岡市天下町1213番地622
電話：0982-23-5234



航空機の降着装置部品製造や精密機械加工部品製造等が主業であるミツワハガネは、平成27年度に地域中核的企業に認定され、長期継続的な伴走支援を行ってきました。

同社は、支援中に事業承継や社員増加等の環境変化があったことから、経営診断により課題を整理し、優先度が高い経営戦略策定を支援しました。支援にあたり社内でプロジェクトチームを作ってもらい、将来像を話し合いながら社員のことを第一に考えた経営理念を策定し、社員全員と共有してもらいました。さらに、社員が成長するための人事評価制度の構築支援も行い、同社は成長し続ける強い組織風土づくりを着実に進めているところです。



【100年企業を目指すために】
プラットフォーム事務局様には「my company」から「our company」へ変えていくための様々な課題を共に考えていただける良き理解者として、心強いご支援をいただいております。

(代表取締役 吉ノ蘭順也)

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局
電話：0985-77-5563

オーガニックで育てた孟宗竹を使った竹炭スティック、 SDGsの取り組みで海外市場を開拓

有限会社 **竹炭の里**

〒880-1224 宮崎県東諸県郡国富町大字深年3845-13
電話：0985-78-1485



国富町の山奥にある自社竹林で有機栽培により育てた孟宗竹を原料に、本格土窯を使った昔ながらの製法で丁寧に焼き上げた飲料水用の竹炭スティック。

もともとは竹炭を使った雑貨やせっけんなどを製造販売している会社ですが、2019年頃から海外へのチャレンジをスタートしました。地元で豊富にあり環境負荷の少ない竹資源を有効活用することで、持続可能な里山づくりとグローバル産地づくりに取り組みながら海外市場の開拓に挑戦しています。

みやざきフードビジネス相談ステーションでは、海外販路開拓へ向け、経済産業省の「JAPANブランド育成支援事業」や、県の「輸出に挑む産地づくり支援事業」などの申請にあたり、事業計画作成を支援すると共に、竹炭パウダーの食品表示なども支援しました。

環境先進国のフランスではペットボトル削減に向けて、SDGsの取り組みとともに環境に優しく安心・安全な高品質の竹炭スティックの需要が高まっています。

現在フランス向け輸出をスタートして3年目ですが、累計売上3万本など、手ごたえを感じています。

(代表取締役 飯田浩一郎)

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
フードビジネス推進課
電話：0985-89-4452

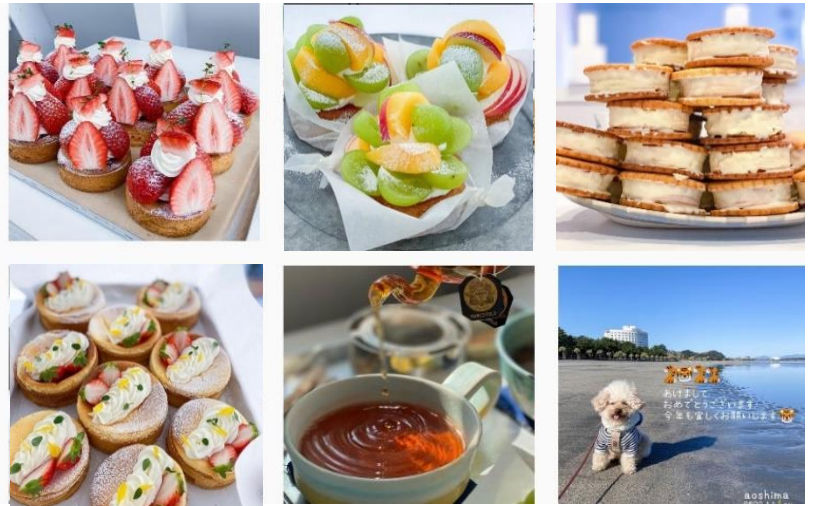
小さなカフェの奮闘記。コロナを機にテイクアウト事業への挑戦!

eight aoshima

〒889-2163 宮崎市青島西2-8-2
電話：090-9709-5158



◀カフェの外観



▲Instagramでの発信

2011年に大阪から宮崎へ移住して2019年に宮崎市青島にカフェを開業。順調にファンを増やしていましたが、コロナによる店内飲食自粛で2020年4～5月の売上がゼロに。この機会に以前から考えていたテイクアウト事業に取り組もうと、小規模事業者持続化補助金を活用して冷蔵庫購入、キッチン増設、テラス工事を行い、いち早く同年8月からテイクアウト販売を開始しました。

Instagramフォロワーは5千人を越え、テイクアウト販売開始から人気上昇。当初は週一日販売としていましたが混雑するため感染対策や地域対策も考え予約販売へ徐々にシフト。その予約販売もSNSで告知後10分程度で完売するほどの人気となりました。また、地元の人気カフェへの卸売販売なども行っています。

現在はテイクアウトと卸売販売だけで以前の売上を超えるなどV字回復ができています。未経験で始めたカフェ営業が、困難にぶつかりながらも成長し、テイクアウト、卸売と販路を広げることができました。

当店が6畳サイズの小さな空間のため、コロナ禍ですぐに休業を余儀なくされました。テイクアウト事業をするためにはキッチンが必要だったので、小規模事業者持続化補助金を利用しました。申請にあたっては書類作成や事業計画案など柳本よろずコーディネーターにご指導いただきました。報告書の作成にもかなり時間を割きましたが、その甲斐あり、キッチンの増設、テラス席の増設ができました。テイクアウトも出来ますし、テラス席の飲食も可能になりコロナ時代に対応したお店になりました。今後はもう少しお店のブランディングに力を入れて、ブランド力を付けたいと思っています。またよろずコーディネーターのお力をお借りしたいと思っています。

(代表 鈴木英子)

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
経営情報課
電話：0985-74-3850

企業の人材育成に関する支援

中小企業者

企業経営力アップ人材育成支援事業



助成対象

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員の皆様が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合、必要な経費の一部を助成しています。

1 研修等参加事業

企業の従業員等の経営管理能力や技術力の向上を図るため、公的機関やセミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

助成対象経費	受講料、参加費、負担金、旅費
助成率	1/2以内 ※賛助会員又は成長期待企業(2/3以内)
助成上限額	10万円 ※賛助会員(15万円) 成長期待企業(20万円)

2 ものづくり企業技能等向上研修事業

ものづくり企業の従業員等の技能等の向上を図るため、公的機関や研究機関、大学、セミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

助成対象経費	受講料、参加費、負担金、旅費
助成率	1/2以内 ※賛助会員又は成長期待企業(2/3以内)
助成上限額	10万円 ※賛助会員(15万円) 成長期待企業(20万円)

3 社内研修・企業間等の連携研修開催事業

生産技術や管理技術等の向上を図るため、専門家等を招聘して、社内研修を開催したり、県内企業間もしくは企業と関係機関との連携による研修等を開催する場合

助成対象経費	講師謝金、講師旅費、会場借上料
助成率	1/2以内 ※賛助会員(3/5以内) 成長期待企業(2/3以内)
助成上限額	30万円

中小企業者

未来成長企業経営力アップ人材育成支援事業



助成対象

宮崎県より選定された未来成長企業が、経営管理能力や技術力の向上を図るため、経営者や従業員の皆様が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合、必要な経費の一部を助成しています。

1 研修等参加事業

企業の従業員等の経営管理能力や技術力の向上を図るため、公的機関やセミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

助成対象経費	受講料、参加費、負担金、旅費
助成率	2/3以内
助成上限額	15万円

2 社内研修・企業間等の連携研修開催事業

生産技術や管理技術等の向上を図るため、専門家等を招聘して、社内研修を開催したり、県内企業間もしくは企業と関係機関との連携による研修等を開催する場合

助成対象経費	講師謝金、講師旅費、会場借上料
助成率	3/5以内
助成上限額	30万円

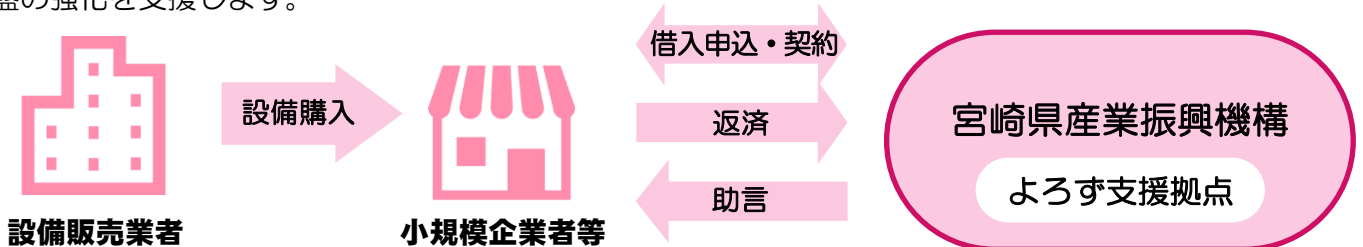
お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構 産業振興課
電話：0985-74-3850

設備導入に関する融資制度「みやざき設備資金貸付事業」

小規模企業者等の皆様が、創業又は経営基盤の強化を図るため、必要な設備を購入される場合、その設備導入資金の一部(1/2以内)について無利子で融資を行っています。(貸付審査会による審査があります。)

なお、貸付申請者には、御希望に応じてよろず支援拠点のコーディネーターが随時助言を行いながら、経営基盤の強化を支援します。



申請対象	県内の小規模企業者等（常用従業員数50名以下）
対象経費	経営基盤強化のために必要な設備（土地建物は対象外）
償還期間	3年以上7年以内（元金据置は最長6ヶ月、口座振替で毎月決済していただきます。）
貸付額	50万円～2,500万円 「フードビジネス」「メディカル」「自動車」「成長期待企業等」で、一定の条件を満たした場合、上限が3,000万円となります。
問い合わせ先	公益財団法人宮崎県産業振興機構 産業振興課 電話：0985-74-3850

フードビジネス商品開発・EC販路開拓個別相談会のご案内

みやざきフードビジネス相談ステーションでは、7月からフードビジネス関連事業者様の新商品開発やEC(ネット販売)での販路開拓等について助言を行う、オンライン個別相談会を実施しています。(随時受付中)

この事業は、ネットショッピングも扱う(株)47CLUBに委託しており、業界に詳しいアドバイザーが中立的な立場で相談を受け、助言するものです。

(株)47CLUBは、47都道府県の新聞社が地元の事業者さんを応援するために設立した会社です。)

相談は1回1時間程度で無料です。また、基本的なことから専門的なものまで丁寧に対応し、継続して相談することもできます。お問合せは下記まで。



▲本日の相談者は六車農園さんでした。

問い合わせ先	みやざきフードビジネス相談ステーション 電話：0985-89-4452 担当：勢井 E-mail：food@i-port.or.jp
--------	--

みやざきビジネス応援プラザ入居者募集

県内で、新たに起業をされる方や新しい事業分野への進出を目指す方等の支援を目的に事務所スペースを低廉な価格で提供します。

詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせ下さい。

(https://www.i-port.or.jp/jigyou/23_office.html)



(外観)



(専用郵便受け)



(共有スペース)



(個室)



(会議室)



(インターネット回線)

対象者	<ul style="list-style-type: none"> 創業5年以内の県内事業者、県内で起業を予定している方（新分野において創業を予定している既存事業者を含む。） 宮崎市に拠点を持たない県内事業者であって、宮崎市での事業展開のための事務所を必要とする方 本県への誘致企業として立地調印を締結した企業であり、臨時的に事務所を必要とする方など
利用条件等	<ul style="list-style-type: none"> 原則3年以内。以後1年ごとの更新で最長10年まで 入居者専用駐車場はありません。など
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 所在地 〒880-0013 宮崎市松橋2-4-31 宮崎県中小企業会館5階 部屋数 8室 設備 デスク、椅子、電源設備、高速インターネット回線、電話回線、固定電話機 共用設備 会議室、男女トイレ、電気照明、空調設備、専用郵便受け、来客者用駐車場 その他 24時間利用可能（入退室カード管理システム完備）、施設内禁煙
利用料金（税込）	25,200円～39,500円
問い合わせ先	公益財団法人宮崎県産業振興機構 経営情報課 電話：0985-74-3850 FAX：0985-74-3950 E-mail：info-21@i-port.or.jp （平日の9時～12時 13時～17時）

下請取引や価格交渉に関する相談窓口

1 下請取引に関する相談

支払日を過ぎても親事業者が支払代金を支払ってくれないなど企業間の下請取引のトラブルに関して無料の相談窓口を開設し、企業間取引や下請取引に詳しい専門の相談員や弁護士が相談の対応を行っています。

相談の事例

- 発注元が、支払日を過ぎても、代金を支払ってくれない。
- 長年取引をしていた発注元が、突然取引を停止した。
- 発注元が「お客さんがキャンセルしたので必要がなくなった。」と言って、納品した部品を返品してきた。
- 取引先から、自社の営業秘密として管理しているノウハウの提供を求められた。

2 価格交渉に関する相談

中小企業が取引先と価格交渉を行う際のノウハウについて、個別の相談指導を行っています。

相談の事例

- 取引先が単価の引下げを求めてきたが、取引先は合理的な説明をしてくれない。
- 短納期で仕事を行ったが、取引先は従来と同じ単価でしか支払ってくれない。
- 原材料の価格が高騰しているが、取引先が単価の見直しをしてくれない。
- 鑄造用の木型を長期保管しているが、取引先が保管料を支払ってくれない。

宮崎県よろず支援拠点へどうぞ!

宮崎県よろず支援拠点は、国（中小企業庁）が設置した無料の経営相談所です。中小企業・小規模事業者の皆さんが抱える様々な経営の悩みに対応します。

電話でのご予約はこちら
受付時間 8:30~17:00(平日)

☎ 0985-74-0786

創業や起業する際の
資金調達について知りたい

電子決済や
ウェブサイトを活用した
販売戦略について
知りたい

取引先との契約書の
内容や事業に関する
法律について相談したい

確定申告や年末調整、
節税の相談をしたい

営業パンフレットを
刷新して企業イメージを
印象づけたい



親族ではない人に
事業を引き継ぎたい

みやざきフードビジネス相談ステーションへどうぞ!

みやざきフードビジネス相談ステーションでは、フードビジネスに関係する企業等の皆様の相談に対して、コーディネーターやアドバイザーが課題解決を支援します。

相談対応の事例や活動の紹介

新商品開発

【相談】新商品を開発したいが、レシピ・加工方法・販売戦略等について助言がほしい。

【対応】商品コンセプトづくり等の支援、加工手順や衛生管理等の助言。

販路開拓

【相談】商品の新たな販売方法や流通チャネルを開拓したいので、アドバイスをお願いしたい。

【対応】商品内容・生産量等の確認、商談会・求評会等の紹介と商談の進め方について助言。

補助事業の活用

【相談】新たな事業を立ち上げたい。資金として国や県等の補助事業を活用したい。

【対応】事業計画の確認と助言、活用可能な補助事業メニュー等の紹介。

トータルコーディネーター販路開拓等サポート事業

県が実施する衛生管理・品質管理向上研修に参加した企業の収益向上を目的に、HACCPトータルコーディネーターを配置し、参加企業の課題（商品改良、販路開拓等）をハンズオン支援。

連携マッチング

【相談】現在、店舗で提供しているカレーをネット販売するためレトルト加工で製造委託したい。

【対応】試作の概要を説明するとともに県内の委託可能な企業を紹介。

デザイン

【相談】商品のパッケージを刷新したいので、進め方について助言がほしい。

【対応】商品及び取組の方向性の確認、当ステーション「デザイナーズバンク」等の紹介。

食品表示（食品表示アドバイザー派遣事業）

【相談】商品を発売予定であり、表示案を作成中であるが、適切であるかを助言してほしい。

【対応】事業所に食品表示アドバイザーを無料で派遣し、新表示法に沿って完成まで助言指導。

相談ステーションやフードビジネスの情報発信

フードビジネス相談ステーションNEWSを年6回発行し、支援した商品の紹介やフードビジネスに関する情報を発信。

<https://www.i-port.or.jp/food/news.html>

企業の皆様へ ～相談にあたってのお願い～

〈相談無料、要予約〉 〈WEB面談にも対応中〉

相談を希望される方は、電話による事前の予約が必要となっています。



電話でのご予約はこちら
受付時間 8:30～17:15（平日）

☎ 0985-89-4452

〒880-0811 宮崎市錦町1-10
宮崎グリーンズフィア壱番館（KITEN）3F
（FAX:0985-89-4468）
（E-mail food@i-port.or.jp）
（URL <https://www.i-port.or.jp/food/>）
相談日 月曜日から金曜日（9:00～17:00）
※土、日曜及び祝日は除く。